

北 海 道 立
アイヌ民族文化研究センター
年 報

2008
(平成20年度)

北海道立アイヌ民族文化研究センター
2009年7月

目 次

1	設置目的	p 1
2	沿 革	p 1
3	組織・体制	p 3
4	施設・設備	p 4
5	事業概要	p 5
	調査研究事業	
	資料・情報収集事業	
	公開・提供事業	
	普及事業	
6	所蔵資料の概要	p10
7	平成20年度事業実績	p12
	調査研究事業	
	資料・情報収集事業	
	公開・提供事業	
	普及事業	
8	参考資料	p19
	北海道立アイヌ民族文化研究センター条例	
	北海道立アイヌ民族文化研究センター条例施行規則	

1 設置目的

アイヌ文化は、アイヌの人々が長い歴史の中で育んできたものであり、今日の北海道の文化にも有形、無形の多くの影響を与えています。

北海道立アイヌ民族文化研究センターは、アイヌの人々をはじめ道民全体の貴重な財産であるアイヌ文化に関する調査研究等を行い、その成果の普及等を図り、もってアイヌ文化の振興に寄与することを目的として設置されました。

2 沿革

1991(平成3)年	北海道知事が「アイヌ民族文化研究センター」設置構想を表明
1994(平成6)年3月31日	「北海道立アイヌ民族文化研究センター条例」公布
6月1日	開設（札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7ビル 5階）
13日	開設記念式典
7月	「山田秀三文庫」受贈
9月	広報紙『アイヌ民族文化研究センターだより』1号発行
	
開設記念式典（1994年6月13日）	
1995(平成7)年3月	『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』1号発行
1996(平成8)年3月	アイヌ文化紹介小冊子『ボン カンピソシ』1冊目発行 『山田秀三文庫図書資料目録 北海道立アイヌ民族文化研究センター資料目録1』発行
1997(平成9)年1月	「バラートシ・アイヌコレクション展」開催 1月16日～2月9日 北海道開拓記念館 3月1日～3月16日 帯広百年記念館 ハンガリー国立民族学博物館、北海道開拓記念館、帯広百年記念館との共催
1997(平成9)年4月	防音室、図書資料室設置
6月	「久保寺逸彦文庫」受贈
2001(平成13)年9月	ホームページ開設
2003(平成15)年4月	採録音声資料の公開開始
2004(平成16)年4月	山田秀三文庫、久保寺逸彦文庫の公開開始（音声資料より開始）
2004(平成16)年9月	『北海道立アイヌ民族文化研究センター年報 2003』発行
2004(平成16)年10月	企画展「アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－」開催 10月30日～11月28日 北海道立文学館 北海道立文学館との共催

- 2005(平成17)年 3月 『北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書1』発行
 2005(平成17)年 7月 企画展「アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－ 2005・旭川」開催
 7月2日～8月21日 旭川市博物館
 旭川市博物館との共催
- 2006(平成18)年 9月 企画展「アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－ 2006・釧路/十勝」開催
 9月2日～9月24日 釧路市立博物館
 釧路市立博物館との共催
 9月30日～10月15日 帯広百年記念館
 帯広百年記念館との共催
- 2007(平成19)年 8月 企画展「アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－ 2007・胆振/日高」開催
 9月2日～9月22日 苫小牧市市立中央図書館
 苫小牧市博物館・苫小牧市立中央図書館との共催
 9月27日～10月8日 室蘭市文化センター
 室蘭市教育委員会との共催
 10月11日～14日 だて歴史の杜カルチャーセンター
 伊達市教育委員会との共催
 このほか、財団法人アイヌ民族博物館、平取町立二風谷アイヌ文化博物館、日高町立門別図書館郷土資料館にてミニ展示を開催
- 2008(平成20)年10月 企画展「アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－ 2008・渡島/檜山/津軽海峡」開催
 10月9日～11月16日 市立函館博物館
 10月7日～10月18日 函館市中央図書館(パネルによるミニ展示)
 市立函館博物館との共催
-  函館バスの車体広告：
 企画展開催期間中に、市立函館博物館付近を発着する系統の車両に掲示した。

- 2009(平成21年) 3月 札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7ビル5階から、同北3条西7丁目1番地 ^{りよくえん} 緑苑ビル1階(北海道庁緑苑ビル庁舎)に移転
 ※移転作業のため、3月2日(月)から31日(火)までの期間を臨時休館とする。

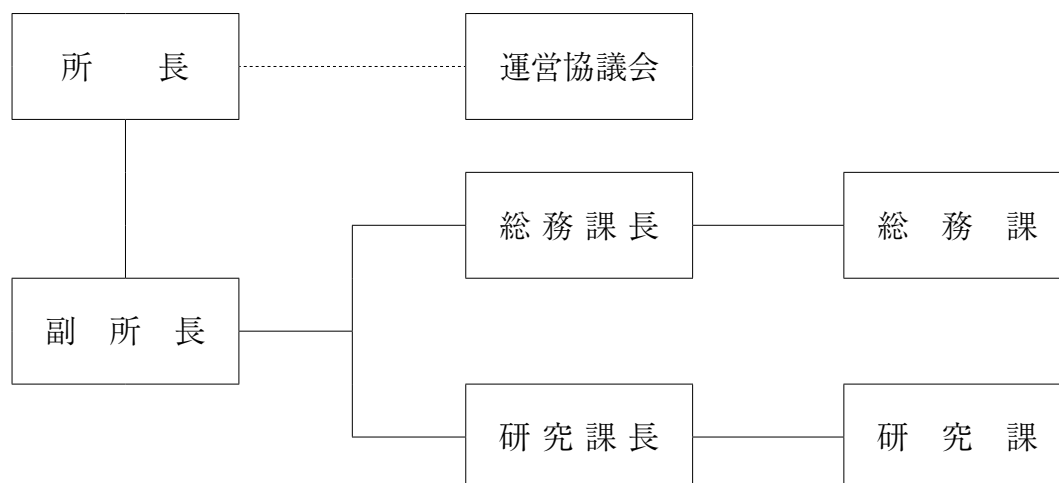


緑苑ビル入口

3 組織・体制

3－1 組織

研究センターは、環境生活部の出先機関です。直接の所管は、同部総務課アイヌ施策推進グループです。



* 運営協議会は、学識者など現員8名の委員からなり、研究センターの運営のあり方、事業計画、事業の推進その他研究センターの運営に必要な事項について協議を行い、研究センター所長に対して意見を述べます。(毎年1回開催)

3－2 現員（平成20年4月1日現在）

所長	1名（非常勤）
副所長	1名（行政職）
総務課 課長	1名（行政職）
主任	1名（行政職）
研究課 課長	1名（研究職）
研究職員	5名（研究職）
〃	2名（非常勤）
臨時職員	1名（5ヶ月）

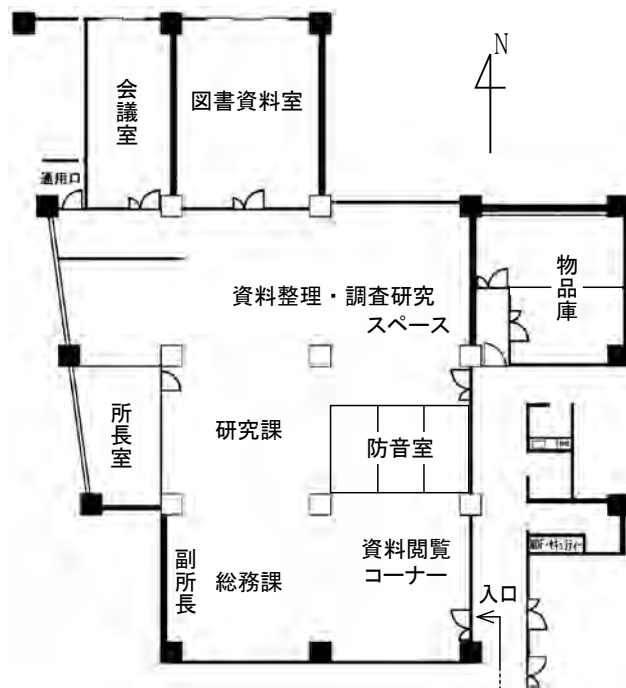
4 施設・設備

※下記は、平成21年3月緑苑ビル移転後の施設・設備の現状です。

所在地 札幌市中央区北3条西7丁目1番地 緑苑ビル 1階

(緑苑ビル1階の北海道庁緑苑ビル庁舎内です)

面 積 432.4㎡



防 音 室

録音・録画資料を再生・編集する機材を備え、音声資料や映像資料の内容点検・整理、保存作業を行います。



図書資料室

他の機関等から寄贈を受けた図書、研究センターが購入等により収集した図書等を保管しています。



資料閲覧コーナーの書架と視聴用パソコン
研究センターの出版物や公開した文書資料・写真資料の閲覧用複製のほか、北海道・北海道教育委員会その他関係機関の出版物等を排架しています。研究センターで公開している音声・映像資料を視聴するためのパソコンを備えています。

参考：移転前の住所と面積

住所：札幌市中央区北1西7 プレスト1・7 5階

面積：450.89㎡

5 事業概要

設置目的の実現のため、「調査研究事業」「資料・情報収集事業」「公開・提供事業」「普及事業」の4つの柱に沿って事業を進めています。

5－1 調査研究事業

アイヌ文化の中でも無形文化として受け継がれてきた、言語、物語や歌謡などの口頭伝承、信仰や儀式の作法、生活用具の製作方法・使用法、自然資源の利用法など、言語、芸能、生活技術の各分野と、これらの理解と調査に欠かせない歴史について、現地調査を進めるとともに、収集した資料の分析研究を行っています。

これらの成果は、『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』等の出版物や講演会・講座等の事業、その他様々な媒体を通して提供につとめています。

【研究課題の設定と評価の実施】

調査研究事業については、各分野で、または相互に連携して研究課題を設定し、その計画に沿って進めています。

また、研究センターを含む道の試験研究機関における研究課題評価を実施しており、研究計画の立案、進捗状況、成果とその提供のあり方などについて、所定の時期に点検評価を行っています。

評価の結果は、当研究センター及び北海道のホームページに掲載し公表しています。

◆研究センターが現在進めている研究課題については12ページ

◆北海道が実施している試験研究機関の研究課題評価については道のホームページから次のページを参照 →<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/kgs/douritsu/hyouka/index.htm>

【『研究紀要』及び『調査研究報告書』の発行】

研究センターにおける調査研究の成果の発表のため、『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』を発行しています。また、アイヌ文化研究に関するすぐれた研究成果や貴重な資料の紹介のため、必要に応じて、外部の識者に寄稿を依頼しています。

研究センターにおける調査研究の中でも、中・長期的な研究課題の成果などで、ある程度まとまったかたちで提供すべきものについては、一冊の報告書にとりまとめ、『北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書』として発行しています。

『研究紀要』は、開設年度から毎年1回発行。

『調査研究報告書』は、『研究紀要』の別冊として、2004（平成16）年度から毎年1回発行。

◆研究紀要、調査研究報告書のこれまでの発行状況と掲載原稿の点数など

年度	1994(H6)～ 1999(H11)	2000 (H12)	2001 (H13)	2002 (H14)	2003 (H15)	2004 (H16)	2005 (H17)	2006 (H18)	2007 (H19)	2008 (H20)	計
(号数)	1～6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	15
論文	18(6)	2(1)	2	1	2	2	2	1	3(1)	2	36(8)
研究ノート	9(1)	1	1	2(1)	1(1)	1	0	1	0	0	16(3)
調査報告	12	3	1	3	2	1	1	0	0	0	23
翻訳・ 資料紹介	8(2)	1	1	0	2(2)	2(1)	2(1)	3(3)	1(1)	2	22(10)
その他 (講演記録 など)	0	0	0	0	0	2(2)	0	0	0	0	2(2)
(号数)						1	2	3	4	5	5
テーマ (主タイト ルのみ)						ピリカ会関 係資料の調 査研究	旭川地方に 伝承される アイヌの座 り歌・踊り 歌についての 調査研究	アイヌ語十 勝方言の基 礎語彙	吉田巖書誌	鶴川地方に 伝承される アイヌの音 楽について の調査研究	

注：カッコ内は外部執筆者に対する依頼原稿で内数。(職員と外部執筆者との共同執筆の場合を含む)

5－2 資料・情報収集事業

道内外の関係機関や研究者等との連携を図り、アイヌ文化に関する資料の所在調査を行い、資料の収集・保存・整理作業を行うとともに、アイヌ文化に関する学術情報の収集を進めています。

〔研究センターにおける資料の収集〕

調査研究等の事業に必要な資料を中心に、アイヌ文化に関する文献、視聴覚資料等を収集しています。

〔寄贈を受けた資料の整理と資料目録の発行〕

寄贈を受けた貴重な資料である、山田秀三文庫及び久保寺逸彦文庫については、整理・保存作業を進めるとともに、資料目録を発行しました。

◆これまでに発行した資料目録

No.	目録の内容	発行年月日、判型等
山田秀三文庫		
1	図書資料目録	1996(平成8)年3月27日発行 B5判 246ページ
2	音声・映像資料目録	1997(平成9)年3月25日発行 B5判 119ページ
4	文書資料目録Ⅰ(ファイル)	2000(平成12)年3月24日発行 B5判 114ページ
6	文書資料目録Ⅱ(地図)	2001(平成13)年9月28日発行 B5判 152ページ
8	文書資料目録Ⅲ(その他)・写真資料目録	2003(平成15)年9月30日発行 B5判 227ページ
久保寺逸彦文庫		
3	図書資料目録	1999(平成11)年3月25日発行 B5判 144ページ
5	文書・写真資料目録	2001(平成13)年9月28日発行 B5判 165ページ
7	音声・映像資料目録	2002(平成14)年9月30日発行 B5判 104ページ



〔道及び道内市町村が所蔵する資料の整理・保存〕

道内などに所在するアイヌ文化に関する貴重な資料について、所蔵機関・所蔵者や市町村等と連携を図りつつ、資料の内容調査や保存処理、整理作業を行い、データの収集と蓄積を進めています。

◆近年の実績については16ページ



音声資料（オープンリールテープ）の内容点検



写真資料（ガラス乾板）の保存

5－3 公開・提供事業

山田秀三文庫、久保寺逸彦文庫や、研究センターの調査研究事業等において伝承者、体験者等からの聞き取り調査等により採録した資料について、整理・保存作業を終え準備の整ったものから順次公開を進めています。

また、収集した学術情報についても、整理し蓄積したものを提供できるよう準備を進めています。

〔資料の公開〕

録音テープ、映像フィルム、調査ノート、写真などの資料について、アイヌの文化や歴史に関する学習・伝承・調査研究の資料として広く活用できるよう、資料の公開・利用に向けた作業を進めています。

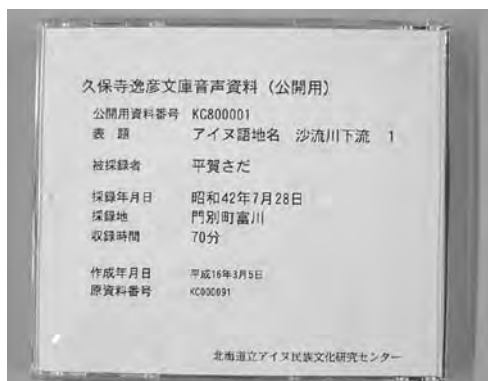
新たに資料を公開する際には、先ずその内容確認を行い、プライバシー情報の有無などを点検し、公開する範囲などについて語り手など資料の関係者と協議することとしています。

公開した資料は、音声・映像資料についてはCDまたはDVD、文書資料や写真資料については複製を作成して、研究センターにおいて閲覧・視聴できるようにしています。

◆公開資料の点数等については17ページ

〔研究情報の提供〕

アイヌ文化に関する図書・論文、新聞記事等の情報や、道内外に所在する伝統的な民具などのデータの収集を進めています。蓄積した情報については、研究センターに寄せられるレファレンス（→9ページ）に際して情報資源として活用するとともに、最近の新聞記事情報を資料閲覧コーナーに排架する等、順次、提供の方法と範囲を広げています。



音声資料の公開用資料



文書・写真資料の公開用資料

音声・映像資料：テープ、フィルム → デジタルデータ化 → 公開用CD・DVDを作成
文書・写真資料：ノート、写真 → 写真撮影による複製 → デジタルデータ化 → 公開用カラードラフトを作成



音声・映像資料の公開資料の視聴用画面

画面に資料の目次が表示されているようです。



文書・写真資料の公開資料を排架した書架

資料番号ごとに冊子にまとめて排架しています。

5-4 普及事業

調査研究事業及び資料・情報収集事業の成果に基づき、アイヌ文化に関する正確な情報をわかりやすく提供するとともに、研究センターの事業内容を紹介するため、アイヌ文化を紹介する小冊子の発行、広報紙の発行、インターネット上のホームページの開設、資料展や講演会・講座の開催等を行っています。

〔アイヌ文化紹介小冊子の発行〕

国連の定めた「世界の先住民の国際10年」（1994年12月～2004年12月）の記念事業として、アイヌ文化に関する専門的な内容をわかりやすく親しみやすいかたちで紹介した小冊子を、毎年1冊ずつ発

行しました。

これらの小冊子は、関係機関及び道内すべての小中高等学校及び特別支援学校等に配付するとともに、アイヌ文化に関する学習のため希望する方々に配付しています。

学習のための参考文献・施設に関する情報については、随時、追補の情報をまとめ、ホームページに掲載する等の措置をとっています。

◆アイヌ文化紹介小冊子発行一覧

	タイトル（テーマ）	発行年月日	判型等	当初発行部数	増刷
1	はなす（アイヌ語）	1996(平成8)年3月	A5判、32ページ	10,000	2刷：平成15年3月(1,000部) 3刷：平成19年3月(500部)
2	着る（衣服）	1997(平成9)年3月	A5判、32ページ	10,000	2刷：平成15年3月(500部) 3刷：平成19年3月(500部)
3	食べる（食事）	1998(平成10)年3月	A5判、32ページ	10,000	
4	住まい	1999(平成11)年3月	A5判、32ページ	10,000	
5	祈る（信仰）	1999(平成11)年11月	A5判、32ページ	10,000	
6	口頭文芸	2000(平成12)年10月	A5判、32ページ	10,000	
7	芸能	2001(平成13)年9月	A5判、32ページ	10,000	
8	民具	2002(平成14)年9月	A5判、32ページ	10,000	
9	地名	2004(平成16)年2月	A5判、32ページ	6,000	2刷：平成20年3月(1,000部)
10	総集編	2005(平成17)年3月	CD-ROM	5,000	
計				91,000	3,500

【広報媒体の作成・発行】

研究センターの事業内容の紹介やアイヌ文化に関する情報提供を主な目的として、広報紙『アイヌ民族文化研究センターだより』を発行するとともに、研究センターの事業内容とその実績を年度ごとにまとめた『北海道立アイヌ民族文化研究センター年報』を発行しています。

また、インターネット上にホームページを開設し、研究センターの事業内容の紹介のほかアイヌ文化紹介小冊子や広報紙・年報の内容やアイヌ文化に関する連載記事を掲載する等、研究センターからの各種の情報提供を行うとともに、レファレンスの受け付けを行っています。

【普及啓発事業】

アイヌ文化に関する理解の促進を図るため、研究センターが所蔵する山田秀三文庫や久保寺逸彦文庫の整理作業の成果を踏まえた資料展を開催するとともに、関連事業として講演会や講座などを開催しています。

また、道が独立行政法人科学技術振興機構と共催し毎年1回開催している「サイエンスパーク」に参加しているほか、関係機関や伝承団体等からの研究センター職員の講師派遣の依頼については、研究センターの調査研究事業等の成果を提供する機会として対応しています。

【レファレンス その他】

アイヌ文化の学習、伝承活動、調査研究等への支援の一環として、参考となる文献や資料とその所在等に関する問い合わせ（レファレンス）に対応しています。

また、資料閲覧コーナーに研究センター及び道・関係機関の出版物等を備え、閲覧に供しています。

6 所蔵資料の概要

〔研究センター所蔵資料点数〕（平成21年3月31日現在）

区分	平成19年度末時点の資料点数				平成20年度の収集(増加)点数				平成20年度末時点の資料点数			
	原資料	保存用複製 (バックアップ)	公開用複製	計	原資料	保存用複製 (バックアップ)	公開用複製	計	原資料	保存用複製 (バックアップ)	公開用複製	計
図書資料												
研究センター収集	11,982	0	0	11,982	838	0	0	838	12,820	0	0	12,820
山田秀三文庫	5,513	0	0	5,513	0	0	0	0	5,513	0	0	5,513
久保寺逸彦文庫	2,773	0	0	2,773	0	0	0	0	2,773	0	0	2,773
小計	20,268	0	0	20,268	838	0	0	838	21,106	0	0	21,106
音声・映像資料												
研究センター収集												
購入・受贈等によるもの	366	3	0	369	12	0	0	12	378	3	0	381
他機関所蔵の複写によるもの	706	0	0	706	5	0	2	7	711	0	2	713
職員の採録等によるもの	711	577	165	1,453	4	0	23	27	715	577	188	1,480
山田秀三文庫	531	171	37	739	0	0	6	6	531	171	43	745
久保寺逸彦文庫	238	253	66	557	0	0	14	14	238	253	80	571
小計	2,552	1,004	268	3,824	21	0	45	66	2,573	1,004	313	3,890
文書資料												
研究センター収集												
購入・受贈等によるもの	4	0	0	4	0	0	0	0	4	0	0	4
他機関所蔵の複写によるもの	220	29	0	249	1	0	0	1	221	29	0	250
山田秀三文庫	1,238	434	0	1,672	0	0	0	0	1,672	434	0	2,106
久保寺逸彦文庫	858	10	0	868	0	0	0	0	868	10	0	878
小計	2,320	473	0	2,793	1	0	0	1	2,321	473	0	2,794
写真資料												
研究センター収集	19	0	0	19	0	0	0	0	19	0	0	19
山田秀三文庫	616	139	0	755	0	0	0	0	616	139	0	755
久保寺逸彦文庫	643	36	0	679	0	0	0	0	643	36	0	679
小計	1,278	175	0	1,453	0	0	0	0	1,278	175	0	1,453
その他（器物など）												
山田秀三文庫	48	0	0	48	0	0	0	0	48	0	0	48
久保寺逸彦文庫	40	0	0	40	0	0	0	0	40	0	0	40
小計	88	0	0	88	0	0	0	0	88	0	0	88
合計	26,506	1,652	0	28,426	860	0	45	905	27,366	1,652	313	29,331

凡例及び注 ・収集(増加)点数は、受入点数から払出点数を差し引いた純増分である。

・文書資料及び写真資料の公開用複製は紙焼き(プリントアウト)等により作成しており、資料の点数には算入していない。



写真資料(フィルム)の保存と複製CD

フィルムは、原則として専用の保存用紙で包み、保存箱に入れて保存します。

フィルムの画像については、高解像度でスキャンしてデジタルデータ化し、CDで保存し活用を図ります。

【寄贈を受けた貴重な資料】

アイヌ文化研究に大きな足跡を遺した山田秀三氏、久保寺逸彦氏の研究資料の寄贈を受け、アイヌ文化の学習、伝承、調査研究等に活用できるよう、保存・整理作業と公開準備を進めています。

やまだ ひでぞう 【山田秀三文庫】

アイヌ語地名研究の第一人者である山田秀三氏（1899～1992年）の旧蔵資料です。
平成6年に、ご遺族から寄贈を受けました。

- ・ 図書資料
地名研究、アイヌ文化、北海道・東北史関係の文献など。
- ・ 音声・映像資料
地名調査の記録、アイヌ口承文芸の記録など。
- ・ 文書資料
調査記録ファイル（現地調査を中心とした地名調査研究の記録）、地図、ノートなど。
- ・ 写真資料
現地調査時の撮影写真など。



文書資料（地図）

日高地方沙流川下流域の5万分の1地形図に、地名調査の記録などを書き込んだもの。



文書資料（ファイル）

日高地方沙流川下流域の地名調査の記録ファイル。日高町富川付近の調査記録。

くぼ であいつひこ 【久保寺逸彦文庫】

アイヌ語・アイヌ口承文芸研究の第一人者で、アイヌの宗教儀礼等の研究にも大きな業績を遺した久保寺逸彦氏（1902年～1971年）の旧蔵資料です。平成9年に、ご遺族から寄贈を受けました。

- ・ 図書資料
アイヌ語、アイヌ口承文芸、アイヌ文化、言語学等に関する文献など。
- ・ 音声・映像資料
アイヌ口承文芸、宗教儀礼等に関する聞き取り記録など。
- ・ 文書資料
アイヌ口承文芸、宗教儀礼等の筆録・翻訳ノート、原稿など。
- ・ 写真資料
聞き取り調査と並行して撮影された記録写真など。



図書資料



写真資料

日高地方沙流川下流域での地名調査風景。山田秀三氏らの同行した地名調査の時のもの。

7 平成20年度事業実績

7-1 調査研究事業

[研究課題]

◆平成20年度に実施した研究課題一覧

No.	研 究 課 題 名	研究期間
1	アイヌ文化研究を側面から支えた人々の歴史に関する調査研究	H19-24
2	鶴川地方に伝承されるアイヌの音楽についての調査研究	H17-19
3	道南地域のアイヌ民族資料に関する調査研究	H17-22
4	アイヌ史関係新聞記事資料に関する調査研究（釧路地方）	H16-20
5	カムイとアイヌの相互交渉に関する調査研究	H16-22
6	十勝地方のアイヌ語の調査研究（文法・助詞）	H14-20
7	学校と地域の歴史を通じた近代アイヌ史の調査研究	H14-21
8	「山田秀三文庫」の整備と分析調査	H 6 -22
9	アイヌ文化資料の内容分析（寄贈資料等）〈所内研修〉	H 6 -25

◆（参考）平成16～19年度に終了した研究課題

吉田巖関係資料の調査研究	H15-19
十勝地方のアイヌ語の調査研究（基礎語彙）	H 7 -17
「久保寺逸彦」中の写真資料に見るアイヌの変遷に関する調査研究	H14-16
沙流川流域の「神謡」の音楽構造と歌唱様式についての調査研究	H11-16

◆研究課題にかかる主な成果発表（報告書、論文、講演等）

種 別	年 月 日	表題（掲載誌・発表学会など）	摘 要
報 告 書	2009(平成21)年 3月25日	(13ページ「調査研究報告書」の項を参照)	
資料紹介	2009(平成21)年 3月25日	「長万部町教育委員会蔵のアイヌ資料」『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第15号	研究課題「道南地域のアイヌ民族資料に関する調査研究」の成果の一部
講 座	2008(平成20)年 10月18日	「渡島・檜山地方のアイヌ民族資料について」（企画展「アイヌ語地名を歩く」関連事業／函館市：函館市中央図書館）	研究課題「ピリカ会関係資料の調査研究」、「道南地域のアイヌ民族資料に関する調査研究」の成果の一部
講 演	2009(平成21)年 3月20日	「ピリカ会が収集した民具資料について」（弁開 風次郎研究会平成20年度総会／八雲町：八雲町落部町民センター）	研究課題「ピリカ会関係資料の調査研究」（平成11～15年度実施）の成果の一部

[研究紀要及び調査研究報告書]

◆平成20年度実績

『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第15号

2009（平成21）年3月25日発行

B5判 126ページ 900部

（関係機関等に配付、その他道行政情報センターにて有償頒布を実施。）



（目次）

[論文] アイヌ語虻田方言の英雄叙事詩（yukar）テキストとその言語的特徴 （佐藤知己）

[論文] アイヌ口承文芸にみられる「史実」と交易 （本田優子）

[資料紹介] 長万部町教育委員会所蔵のアイヌ資料 （古原敏弘、小川正人）

[資料紹介] アイヌ文献目録2007 （アイヌ文献目録編集会）

『鵒川地方に伝承されるアイヌの音楽についての調査研究

北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書5』

2009（平成21）年3月25日発行

B5判 71ページ、CD付き 900部

（関係機関等に配付、その他道行政情報センターにて有償頒布を実施。）

平成17～19年度に行った研究課題「鵒川地方に伝承されるアイヌの音楽についての調査研究」の成果報告です。



[研究職員の実績一覧]

研究課長 古原敏弘（こはら としひろ） 〈主な研究分野／研究課題〉 考古学、物質文化研究 北海道内・外諸地域のアイヌ民族資料に関する調査研究 〈主な研究業績（2006～2008年度）〉 ◆著書・論文・研究ノート・調査報告・資料紹介・広報紙・書評など 2007年2月 （共編著）『ロシア民族学博物館所蔵アイヌ資料目録』草風館 2007年12月 「[研究動向]アイヌ文化研究の現状：噴火湾沿岸のアイヌ資料」（『Newsletter 噴火湾文化』第3号、伊達市噴火湾文化研究所、8～10ページ） 2008年3月 （共編著）『北海道内の主要アイヌ資料の再検討』国立民族学博物館（日本学術振興会科学研究費補助金成果報告書） 2007年3月 （共編著）「伊達市噴火湾文化研究所のジョン・バチラー関係資料 2」（『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第13号、31～53ページ） 2009年3月 （共編著）「長万部町教育委員会所蔵のアイヌ資料」（『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』15号、57～84ページ） ◆学会発表・講演など 2009年3月 「渡島・檜山地方のアイヌ民族資料について」（弁開風次郎研究会平成20年度総会：八雲町落部町民センター）
研究職員 大谷洋一（おおたに よういち） 〈主な研究分野／研究課題〉 アイヌ口承文芸研究 アイヌの口頭伝承にみる、カムイとアイヌの相互交渉に関する調査研究 胆振東部から日高西部にかけてのアイヌ語諸方言と口承文芸 〈主な研究業績（2006～2008年度）〉 ◆著書・論文・研究ノート・調査報告・資料紹介・広報紙・書評など 2007年4月 （項目執筆）「アイヌ文学」（大項目「アイヌ」のうち）（『世界大百科事典』平凡社） ◆学会発表・講演など
研究職員 甲地利恵（こうち りえ） 〈主な研究分野／研究課題〉 アイヌ音楽研究、民族音楽学 北海道内諸地域に伝承されるアイヌ音楽についての調査研究 アイヌの歌謡の旋律構造に関する調査研究 〈主な研究業績（2006～2008年度）〉 ◆著書・論文・研究ノート・調査報告・資料紹介・広報紙・書評など 2007年3月 （書評）「谷本一之著『北方民族 歌の旅』」（『北海道民族学』第3号、北海道民族学会） 2007年4月 「アイヌ音楽」（『日本音楽基本用語辞典』、音楽之友社、159～168ページ） 2007年5月 「鳥になる」（『月刊みんぱく』第356号、国立民族学博物館、6～7ページ） 2007年4月 （項目執筆）「音楽・舞踊」（大項目「アイヌ」のうち）（『世界大百科事典』平凡社） 2009年3月 （編著）『鶴川地方に伝承されるアイヌの音楽についての調査研究 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書5』 ◆学会発表・講演など 2006年7月 「北方の音に聴く 声の彩り・響きの加工」（北海道立北方民族博物館講座「北太平洋地域の踊りと音」：網走市）

研究職員

小川正人（おがわ まさひと）

〈主な研究分野／研究課題〉

近代アイヌ史、教育史
 学校と地域の歴史を通じた近代アイヌ史の調査研究
 近代アイヌ史の基礎的資料の収集・整備

〈主な研究業績（2006～2008年度）〉

◆著書・論文・研究ノート・調査報告・資料紹介・広報紙・書評など

- 2007年10月 「『遊楽部学校』の歴史：1880～1890年代のアイヌ学校に関する実態分析のこころみ」（『日本の教育史学 教育史学会紀要』第50集）
- 2007年3月 （共編）「アイヌ文献目録」2005～2007（『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第13～15号）
- 2008年3月 （編著）『吉田巖書誌 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書4』
- 2009年3月 （資料紹介：共編）「長万部町教育委員会所蔵のアイヌ資料」（『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第15号）
- 2009年3月 「竹ヶ原幸朗さんのこと」「竹ヶ原幸朗 文献目録」（『教育史・比較教育論考』第19号、北海道大学教育学部教育史・比較教育研究グループ）

◆学会発表・講演など

- 2007年6月 「学校ができ、そこに子どもが通う：近代アイヌ教育史における学校の問題」（歴史学研究会2007年度大会近代史部会：東京大学）

研究職員

澤井春美（さわい はるみ）

〈主な研究分野／研究課題〉

アイヌ語学、言語学
 アイヌ語十勝方言の語彙、文法、口承文芸等に関する研究

〈主な研究業績（2006～2008年度）〉

◆著書・論文・研究ノート・調査報告・資料紹介・広報紙・書評など

- 2006年9月 （編著）『アイヌ語十勝方言の基礎語彙集：本別町・沢井トメノのアイヌ語 北海道立アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書3』
- 2008年3月 「アイヌ語十勝方言の接続助詞 wa, tek, ahinne について」（『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第14号）

◆学会発表・講演など

研究職員

貝澤太一（かいざわ たいち）

〈主な研究分野／研究課題〉

アイヌ伝統文化における生活技術研究
 沙流地方を中心とした、アイヌ文化における植物利用に関する研究

〈主な研究業績（2006～2008年度）〉

◆著書・論文・研究ノート・調査報告・資料紹介・広報紙・書評など

- 2006年12月 （共著）「沙流川流域のアイヌ民族の食文化に関する応用研究〔下〕」（北海学園大学大学院文学研究科 年報『新人文』第3号）
- 2006年12月 （書評）「北海道立北方民族博物館編『環太平洋の環境と文化』」（北海学園大学大学院文学研究科 年報『新人文』第3号）

◆学会発表・講演など

7-2 資料・情報収集事業

[平成20年度収集＝受入資料点数]

◆平成20年度受入れ資料の内訳

整理区分		点数計	受入れ種別の内訳							備考
			購入	寄贈	管理換	複製・製本 (増加) (合冊による払出分)		採録	その他	
図書	単行本	402	114	287	0	1	0	0	0	
	雑誌	436	47	447	0	28	-86	0	0	
	小計	838	161	734	0	29	-86	0	0	
音声・映像	寄贈・購入・複製収集など	17	5	7	0	5	0	0	0	
	研究センター職員による採録	4	0	0	0	0	0	4	0	
	公開用	45	0	0	0	45	0	0	0	内訳は17ページ参照
	小計	66	5	7	0	50	0	4	0	
文書		1	0	0	0	1	0	0	0	
写真・その他		0	0	0	0	0	0	0	0	
計		905	166	741	0	80	-86	4	0	

[道内に所在する貴重資料の整理・保存]

(平成17～20年度の事業実績)

◆平成17-18年度「伊達市噴火湾文化研究所資料所蔵ジョン・バチラーの保存作業と資料目録の作成」

アイヌの人々に対するキリスト教の布教活動や教育・社会事業等で知られるジョン・バチラー及びその養女・八重子が所蔵していた図書、写真等のほか、八重子による筆録ノート等について、資料の概要を目録にまとめるとともに、ノート類のマイクロフィルム化を行いました。資料目録は『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』第12号及び第13号に掲載しました。

◆平成19年度長万部町教育委員会所蔵音声資料の保存作業

長万部町教育委員会が所蔵している、1960年代前半に録音された、歌謡や口承文芸の録音テープ12点について、デジタルデータ（waveファイル、44Khz、16Bit）に変換しCD-Rに保存しました。

7-3 公開・提供事業

[平成20年度新規公開資料点数]

◆平成20年度 公開資料作成実績

種別		20年度に公開準備を終えた資料	過年度分	累計
音声・映像資料	研究センター収集資料(職員による採録等)	27(25)	180(165)	207(190)
	山田秀三文庫	6(6)	64(37)	70(43)
	久保寺逸彦文庫	9(14)	47(66)	56(60)
文書資料	山田秀三文庫	10	46	56
写真資料	久保寺逸彦文庫	-	483	483

凡例及び注

- ・公開準備を終えた原資料の点数を記載。
- ・音声・映像資料におけるカッコ内の数字は、公開用の複製（CD・DVD）の点数で、6ページの受け入れ資料点数の内訳にあたる。（この数字と原資料の数とが合致しないのは、1点の原資料から2点以上のCDを作る場合や、2点以上の原資料を1点のCDにまとめる場合などがあるため。）

7-4 普及事業

[平成20年度広報媒体発行実績]

広報紙

『アイヌ民族文化研究センターだより』No.29

2008（平成20）年9月発行

A4判 8ページ 1,500部

『アイヌ民族文化研究センターだより』No.30

2009（平成21）年3月発行

A4判 8ページ 1,500部

いずれも関係機関に配付したほか、研究センター資料閲覧コーナー等にて希望者に配付。



年報

『北海道立アイヌ民族文化研究センター年報 2007（平成19）年度』

2008（平成20）年6月発行

A4判 16ページ 800部 関係機関に配付

[平成20年度普及啓発事業実績]

企画展「アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－ 2008・渡島／檜山／津軽海峡」

主会場 市立函館博物館 10月9日～11月16日

ミニ展示 函館市中央図書館 10月7日～10月18日

観覧者 1,519名（主会場のみ）

講演会・講座

- ・10月11日（土）講座・講演会 函館市中央図書館 参加89名
 本田優子（札幌大学教授） 「アットゥシの歴史を追う」
 佐々木利和（国立民族学博物館教授）「山田秀三氏の道南・青森での地名調査」
- ・10月12日（日）講座 市立函館博物館 参加61名
 小川正人、古原敏弘（研究センター職員）
 「山田秀三文庫の渡島・檜山地方に関する地名調査資料について」
- ・10月18日（土）講座・講演会 函館市中央図書館 参加99名
 小川正人、古原敏弘（研究センター職員）、谷本晃久（北海道大学准教授）
 「渡島・檜山地方のアイヌ民族資料について」
 高木崇世芝（アイヌ語地名研究会会員）「山田秀三文庫と渡島地方の古地図」
- ・展示解説図録
 『アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－ 2008・渡島／檜山／津軽海峡』
 2008年9月30日発行 A4判 20ページ 800部

◆研究センター平成20年度利用実績

種 別	人数・件数	備考（内訳等）	(参考) 19年度	18年度	17年度	16年度	15年度
資料閲覧コーナー 来観者	109		130	127	154	202	143
公開用資料の閲覧・視聴	25	上記の内数	40	26	15	21	8
その他来訪者	158	関係団体の視察等	199	179	202	148	192
レファレンス（件数）	126	電話79、来訪21、 電子メール20、郵便等 4	124	153	157	153	138
刊行物の転載（件数）	1	研究紀要掲載論文の出版 物への転載	1	1	2	3	2
ホームページアクセス （件数）	19,226		18,421	15,469	23,878	29,569	21,382

◆研究センター平成20年度予算

区 分 （ 内 訳 ）			20年度	19年度	18年度	17年度
事業費	調査研究事業		3,307	3,651	4,010	4,266
		(調査旅費等)	1,927	2,157	2,265	2,521
		(研究紀要の発行)	1,380	1,494	1,745	1,745
	情報収集・提供事業		5,759	6,284	6,565	6,984
		(公開用資料の作成)	2,696	3,121	3,121	3,121
		(文献資料等の購入)	1,163	1,163	1,164	1,386
		(機材の整備)	400	500	600	650
		(パソコン等借上料)	1,500	1,500	1,680	1,827
維持運営費	普及事業		1,529	1,619	1,682	1,746
	小計		10,595	11,554	12,257	12,996
	維持管理費	(事務室維持費等)	23,626	23,979	27,265	32,419
	運営費	(一般事務費等)	1,537	1,942	2,277	2,663
	その他		7,499	7,772	7,772	7,772
	小計		32,662	33,963	37,314	42,854
合 計			43,257	45,247	49,571	55,850

8 参考資料

8-1 北海道立アイヌ民族文化研究センター条例

平成6年3月31日 条例第4号

北海道立アイヌ民族文化研究センター条例をここに公布する。

北海道立アイヌ民族文化研究センター条例

(設置)

第1条 アイヌ民族文化に関する調査研究等を行い、その成果の普及等を図り、もってアイヌ民族文化の振興に寄与するため、北海道立アイヌ民族文化研究センター（以下「研究センター」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 研究センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	北海道立アイヌ民族文化研究センター
位 置	札幌市

(事業)

第3条 研究センターは、次の事業を行う。

- (1) アイヌ民族文化に関する調査研究及びその成果の普及を行うこと。
- (2) アイヌ民族文化に関する情報の収集及び提供を行うこと。
- (3) アイヌ民族文化に関する研究の支援を行うこと。
- (4) その他設置の目的を達成するために必要な事業

(規則への委任)

第4条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成6年6月1日から施行する。

8-2 北海道立アイヌ民族文化研究センター条例施行規則

平成6年6月1日規則第66号

(開館時間)

改正 平成10年3月24日規則第22号

第2条 北海道立アイヌ民族文化研究センター（以下「研究センター」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

北海道立アイヌ民族文化研究センター条例施行規則
をここに公布する。

2 研究センターの所長（以下「所長」という。）は、前項の規定にかかわらず、研究センターの運営上特別の必要があるとき又は非常変災その他急迫の事情があるときは、閉館時間を変更することができる。

北海道立アイヌ民族文化研究センター条例施行規則
(趣旨)

(休館日)

第1条 この規則は、北海道立アイヌ民族文化研究センター条例（平成6年北海道条例第4号）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

第3条 研究センターの休館日は、次のとおりとする。

- (1) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）

に規定する休日

(2) 日曜日及び土曜日

(3) 1月2日、同月3日及び12月29日から同月31日まで
2 所長は、前項の規定にかかわらず、研究センターの運営上特別の必要があるときは、休館日に開館することができる。

(臨時休館)

第4条 所長は、前条第1項に規定するもののほか、研究センターの運営上特別の必要があるとき又は非常変災その他急迫の事情があるときは、臨時に休館することができる。

(入館の制限)

第5条 研究センターの秩序を乱すおそれがあると認められる者に対しては、所長は、入館を拒み、又は退館させることができる。

(入館者の遵守事項等)

第6条 入館者は、研究センターの利用につき、この規則及び研究センターの管理に当たる職員（以下「研究センター職員」という。）の指示に従うほか、特に次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 施設、附属設備又はアイヌ民族文化に関する文書、記録その他の資料であって、研究センターが収集し、管理するもの（以下「研究センター資料」という。）を持損し、若しくは破損し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。

(2) 他の利用者に迷惑を及ぼし、又はそのおそれのある行為をしないこと。

2 所長は、入館者が前項の規定に違反し、研究センターの管理運営上支障があると認めるときは、当該入館者に対しては、研究センターの利用を制限し、又は退館させることができる。

(利用の制限)

第7条 所長は、研究センター資料の保存上支障が生ずると認められるときは、その利用を制限することができる。

(閲覧及び視聴の手続)

第8条 研究センター資料を閲覧又は視聴しようとする者は、あらかじめ、別記第1号様式の研究センター

資料閲覧・視聴請求票を所長に提出しなければならない。

(閲覧及び視聴の場所)

第9条 研究センター資料の閲覧及び視聴は、資料閲覧室又は研究センター職員の指定する場所において行わなければならない。

(複写の承認)

第10条 研究センター資料を複写しようとする者は、あらかじめ、別記第2号様式の研究センター資料複写承認申請書を所長に提出し、その承認を受けなければならない。

(複写物の出版及び出版物への掲載の許可)

第11条 複写物の全部又は一部を出版し、又は出版物に掲載しようとする者は、あらかじめ、別記第3号様式の研究センター資料複写物出版・掲載許可申請書を所長に提出し、その許可を受けなければならない。

(貸出し)

第12条 研究センター資料の貸出しは、行わないものとする。ただし、所長の許可を得たときは、この限りでない。

(補則)

第13条 この規則の施行に関し必要な事項は、所長が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成10年3月24日規則第22号）

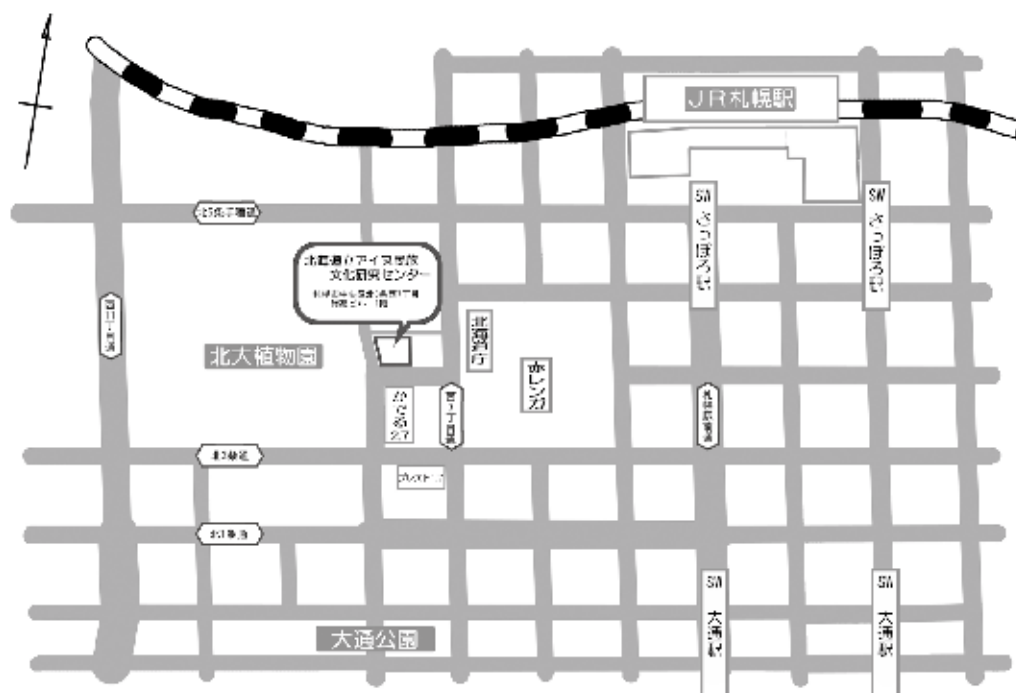
1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の規則に基づいて作成されている用紙がある場合においては、この規則による改正後の規則の規定にかかわらず、当分の間使用することを妨げない。

別記第1号様式（第8条関係）〔略〕

別記第2号様式（第10条関係）〔略〕

別記第3号様式（第11条関係）〔略〕



北海道立アイヌ民族文化研究センター年報 2008(平成20年度)

2009(平成21)年7月31日発行

編集・発行 北海道立アイヌ民族文化研究センター

〒060-0001 札幌市中央区北3条西7丁目 緑苑ビル 1階

電話 011-272-8801～03 ファクシミリ 011-272-8850

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/abc>

印刷所 株式会社日栄舎 ☎011-811-6161

